



ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

低汚染弱溶剤2液型フッ素樹脂塗料  
**サンゴロン® UV**



ロックペイント株式会社

低汚染弱溶剤2液型フッ素樹脂塗料

# サンフロン<sup>®</sup>UV

環境にやさしくメンテナンスコスト低減へ

サンフロン<sup>®</sup>UVは、強靱で強い結合エネルギー(C-F)を持つ4フッ化構造のフッ素樹脂を採用し、高性能な塗料を実現しました。

## 超高耐候性

太陽光に含まれる紫外線(UV)や風雨、錆などの劣化因子から塗装面を強力にブロックします。

## 低汚染性

雨水が塗膜になじみやすい親水性塗膜となり、塗膜表面の汚れを雨水で流すセルフクリーニング技術を採用しました。

## 環境低負荷

塗料用シンナー希釈タイプのため臭気がマイルドで、下地(旧塗膜)の適用が幅広く、鉛・クロム化合物をはじめ、ホルムアルデヒドを配合していません。

## 防藻・防カビ性

風雨に溶出しない薬剤を包剤化し、長期間美観を維持します。

## 作業性

速乾性で作業性にすぐれます。

## 用途

- ・戸建住宅、集合住宅、商業施設など壁面上塗り
- ・建築構造物、建築用パネル、各種金属部材など
- ・各種旧塗膜など塗り替え用上塗り

## 被塗物素材

- ・コンクリート、モルタル、サイディングボード、ALC、スレート板など
- ・鉄部、亜鉛めっき鋼板、アルミニウム、ステンレスなどの金属面

注) 付着適性のない部材や旧塗膜の状態により付着が十分得られない場合がありますので事前にご確認ください。

金属部に塗装する場合は必ず下塗りに適性のあるプライマーを塗装してください。

アクリル板、塩ビ、木部には塗装できません。

## 製品構成・配合比・可使用時間

主 剤：081-9020 サンフロンUV 調色品 13kg、2.6kg

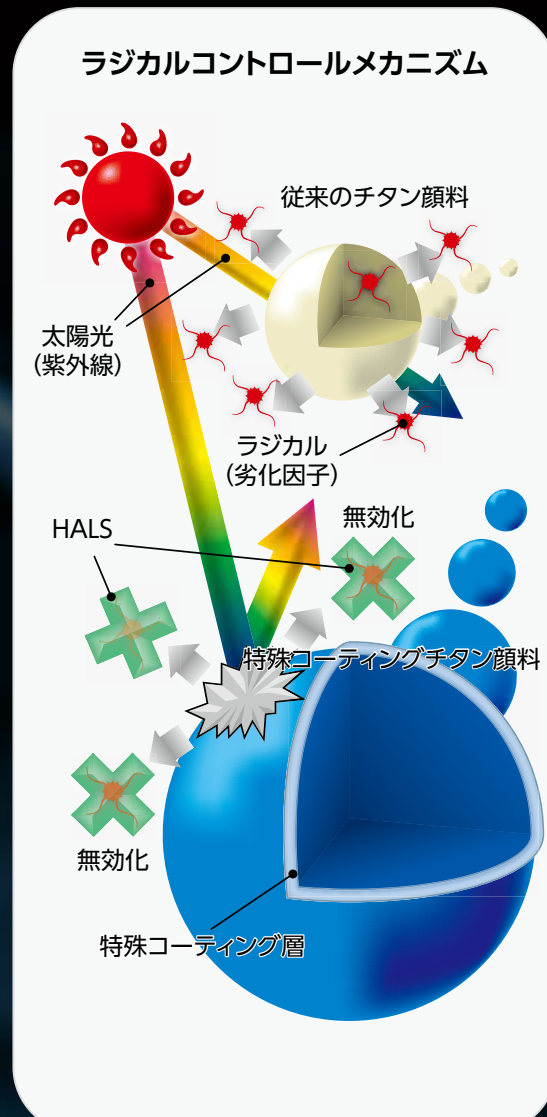
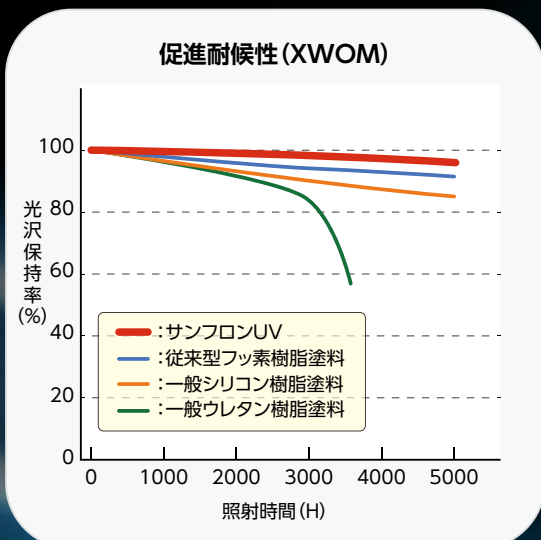
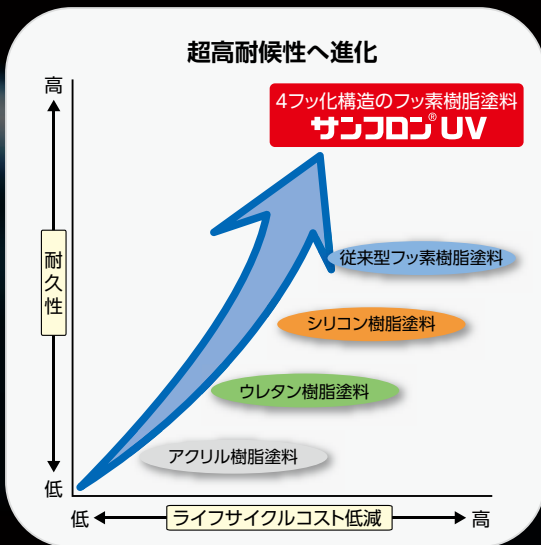
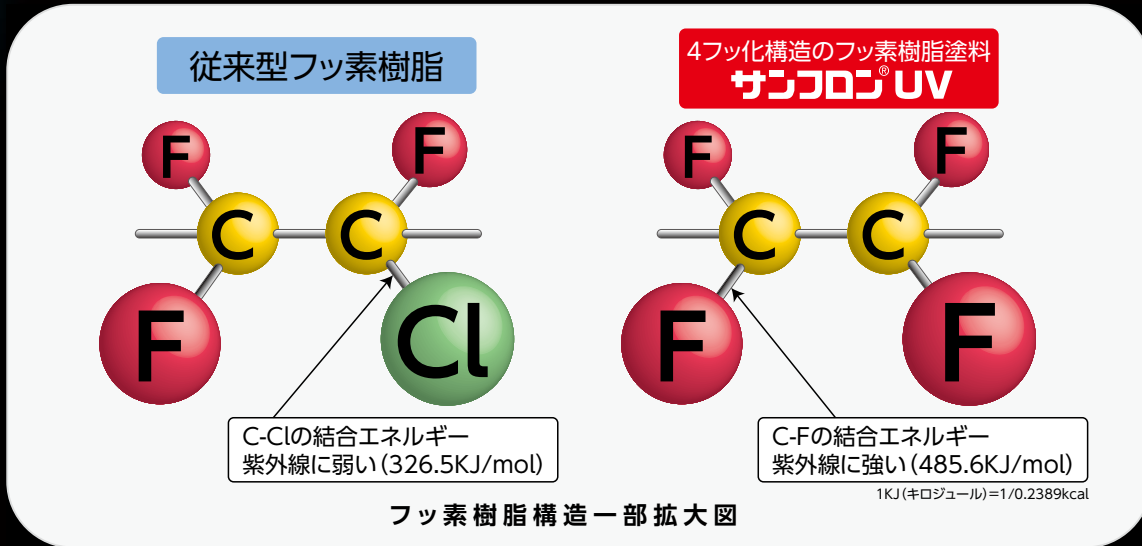
硬化剤：081-2140 サンフロンUV 硬化剤 2kg、0.4kg

配合比(重量比) 主剤：硬化剤=6.5：1

可使用時間(ポットライフ)：12時間(10℃)、5時間(20℃)、4時間(30℃)

## 超高耐候性

4フッ化構造を持った弱溶剤可溶タイプのフッ素樹脂を採用しているため、耐紫外線性、耐酸性雨性、耐アルカリ性をはじめ、海岸地域や工業地帯などの厳しい環境においても、非常にすぐれた耐久性を発揮します。また、特殊コーティングチタン(ホワイト)顔料及びラジカル吸着安定剤(HALS)によるラジカルコントロール技術により、従来型のフッ素樹脂塗料に比べ耐候性がすぐれています。





## 低汚染性

建築物の壁面に見られる筋状の汚れは、美観を著しく損なっています。この汚れは壁面上部のやや平らな部分にゴミやほこりが堆積することで、雨天時に汚れた水となり、壁面を筋状に流れて残ります。都市部の汚れ物質は親油性であるため、塗膜表面を親水性にすることで、雨水が塗膜を全体的に流れ落ちるような挙動となります。また、汚れ物質も塗膜になじみにくいため、流れ落ちる水により浮き上がりながら落ちてゆきます。サンフロンUVは従来以上の親水性塗膜を示すため、すぐれた低汚染性を発揮し、メンテナンスコストの低減につながります。

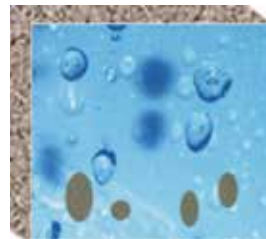
### 塗膜表面状態の違いによる水の濡れ性



### 塗膜表面における、低汚染性のメカニズム



従来の塗膜は水滴をはじきやすく、ゴミなどが付着すると流れにくくなり汚染跡が残る。



親水塗膜は水滴の接触面が多く、雨などでゴミの内側に入り込み、水とともに流し去る。

雨水で汚れを流し落とす「セルフクリーニング機能」

### 屋外暴露試験（雨筋汚染性・屋外タンク1.5年後）



サンフロン® UV



他社フッ素塗料



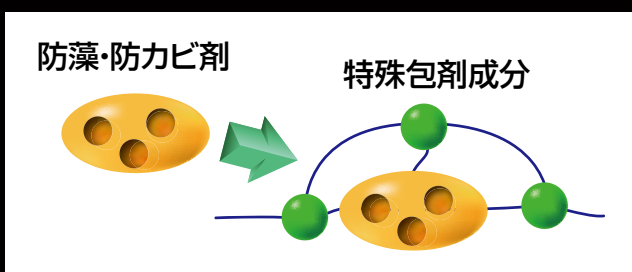
汎用塗料

## 環境低負荷

塗料用シンナー（ターペン）で希釈でき、弱溶剤系の溶剤で構成されているため、臭気がマイルドで、あらゆる用途に塗装できます。また1回の塗り替え改修で塗り替え間隔を大幅に延ばすことができるため、メンテナンスコストの低減が図れます。その上、鉛・クロム化合物をはじめ、ホルムアルデヒドを配合していません。

## 防藻・防カビ性

水に溶けない強力な防藻・防カビ剤を採用しました。また、特殊成分が薬剤を包剤（カプセル）化することで風雨により流出しないため、長期間持続性を発揮します。



### ● 性能表（社内規格にて実施）〔サンフロンUV ホワイト〕

試験項目	品質	結果	
容器の中の状態	主剤、硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる。	合格	
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合格	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと。	合格	
表面乾燥性	23℃	8時間以内で表面乾燥する。	合格
	5℃	16時間以内で表面乾燥する。	合格
塗膜の外観	正常である。	合格	
ポットライフ	5時間で使用できるものとする。	合格	
隠ぺい率 %	白および淡彩	90以上	96
鏡面光沢度		70以上	82
耐衝撃性	おもりを落下したとき、割れ及びはがれが生じない。	合格	
付着性(クロスカット法)	分類1又は分類0である。	合格	
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	0.7以上	合格(1.0)
	浸水後	0.5以上	合格(0.9)
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格	
透水性 B法 ml	0.5以下	合格(0.1)	
ひび割れ充てん性	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がないこと。	合格	
可とう性	ひび割れがないこと。	合格	
重ね塗り適合性	重ね塗りに支障がない。	合格	
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム水溶液に168時間浸せきしたとき、異常がない。	合格	
耐酸性	5%硫酸に168時間接したとき、異常がない。	合格	
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える。	合格	
耐候性 A法	キセノンランプ300時間照射した後、ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格	
耐候性 B法（耐候形1種）	キセノンランプ照射時間2500時間で、塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級が1以下であること。	合格	
屋外暴露耐候性	屋外暴露24ヶ月で光沢保持率が60%以上で、試料の色差が見本品と比較して大きくなく、白亜化の等級が1又は0である。	合格	

※上記試験の結果は特定の場合における実測値または結果であり、その性能を保証するものではありません。

## 標準塗装仕様

## 1. コンクリート、モルタル面などの平滑仕上げ(新設)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	エフロレセス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9.5以下)					
下塗り <sup>注1)</sup>	033ライン ユメロックシーラー <sup>注2)</sup> 配合比(重量)主剤：硬化剤=5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0 エアレス： 0 (通常不要)	1	0.08～0.13	4時間以上 7日以内 <sup>注4)</sup>
上塗り <sup>注3)</sup>	081ライン サンフロンUV 配合比(重量)主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内 <sup>注4)</sup>

## 2. 鉄部、非鉄金属部の平滑仕上げ(新設)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準膜厚(μ)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮、赤さび、白さびなどを念入りに除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、又はSIS St 3程度。じんあい、水分、油分は完全に除去する。						
下塗り <sup>注5)</sup>	061ライン 2液型サビカット 配合比(重量)主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0～5 エアレス： 5～10	1	40	0.13～0.15	4時間以上 7日以内 <sup>注4)</sup>
上塗り <sup>注3)</sup>	081ライン サンフロンUV 配合比(重量)主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	30	0.12～0.14	3時間以上 14日以内 <sup>注4)</sup>

## 3. コンクリート、モルタルなど可とう形改修塗材Eを使用した塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレセス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	032-2106 ビニロックエラストックフィラーⅢ <sup>注6)</sup> (可とう形改修塗材E)	水	ローラー： 5～10 エアレス： 5～10 砂骨ローラー： 1～5	1	0.3～0.5 0.8～1.5	8時間以上
上塗り <sup>注3)</sup>	081ライン サンフロンUV 配合比(重量)主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内 <sup>注4)</sup>

## 4. コンクリート、モルタル、サイディングボードなどシーラーを使用した塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。またエフロレセス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り <sup>注1)</sup>	033ライン ユメロックシーラー <sup>注2)</sup> 配合比(重量)主剤：硬化剤=5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0 エアレス： 0 (通常不要)	1	0.08～0.13	4時間以上 7日以内 <sup>注4)</sup>
上塗り <sup>注3)</sup>	081ライン サンフロンUV 配合比(重量)主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	0.12～0.14	3時間以上 14日以内 <sup>注4)</sup>

## 5. 鉄部、非鉄金属部の塗り替え

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準膜厚(μ)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> ・回)	塗り重ね可能時間(20℃)
下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で、浮き塗膜、さびなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り <sup>注5)</sup>	061ライン 2液型サビカット 配合比(重量)主剤：硬化剤=9：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 0～5 エアレス： 5～10	1	40	0.13～0.15	4時間以上 7日以内 <sup>注4)</sup>
上塗り <sup>注3)</sup>	081ライン サンフロンUV 配合比(重量)主剤：硬化剤=6.5：1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー： 5～15 エアレス： 10～20	2	30	0.12～0.14	3時間以上 14日以内 <sup>注4)</sup>

注1) 吸い込みの著しい部材については標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

注2) 下塗りには他にユメロックシーラー ホワイト、エポシーラーマルチ、ロックカチオンシーラーマルチⅢ(透明)、ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト、ロックSBフィラー、クリスタルロック UV ガードクリヤー プライマーがあります。

注3) 上塗りのサンフロンUVをつや調整品(7分つや～3分つや)で仕上げる場合、硬化剤配合後は念入りに攪拌してください。また1回目の上塗りはツヤ有を塗装してください。

注4) 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。

注5) 金属部の塗装には変性エポキシ系のサビ止め「2液型サビカット」、「ロックエポキシハイプライマー(2液型)」、「水性サビカット(2液型)」、「サビカットシリーズ(1液型)」を下塗りに使用してください。

注6) 032-2106の他に、032-2105ビニロックエラストックフィラーもあります。塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシガン、タイルガンも使用できます。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや乾燥を考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。



## 施工上の注意事項

- 使用する前に塗料を缶の底から十分にかき混ぜて、全体を均一にしてください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用し、主剤と硬化剤の配合比を守ってください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能が発揮できません。
- サンフロンUVの可使時間は5時間(20℃)、4時間(30℃)です。硬化剤配合後は可使時間内に使い切ってください。
- 希釈は塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また必要以上に希釈するとたれや色分かれの原因となります。
- 2回塗りまたはタッチアップは1回塗り後14日以内(20℃)に行ってください。それ以上の場合、付着不良となることがあります。また夏場(気温、被塗物温度を含む)の高温下では硬化速度が速まるため、上塗りの塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに行ってください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯れ葉などの汚れやはがれかかった塗膜は、よく取り除いてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 塗装中および塗装後24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また、湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での仕様は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤には湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また開栓後はできるだけ早めにご使用ください。水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 金属部の塗装には変性エポキシ系のサビ止め「2液型サビカット」、「ロックエポキシハイプライマー(2液型)」、「水性サビカット(2液型)」、「サビカットシリーズ(1液型)」を下塗りに使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいため、素地調整後、下塗り塗料(サビ止め)で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- ビニロックエラストックフィラー(Ⅲ)を砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗り後ならし塗りを行い、塗り継ぎにむらが生じないように行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ、ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 補修部分が目立つ場合がありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 適切なシーラーにつきましても最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く行くと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止めを下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 塗色が濃い場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑剤を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- 屋外セメント系素地に段差や素穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、適切なシーラーであらかじめ下塗りをしておいてください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となることがあります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをおすすめします。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタック)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生している場合があります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外壁を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れてくる場合があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをおすすめします。なおノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、適性のあるエムロックシーラーを下塗りとして使用してください。
- サイディングボードには種類により塗料が付着しにくいものがありますので、塗装の際は事前に確認の上、施工してください。場合によってはクリスタルロックUVガードクリヤープライマーやハイパーシーラーエポを下塗りとした仕様もありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 標準塗装仕様中の標準塗付量については、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- エムロックシーラーなどのシーラーを吸い込みの著しい部材に塗装する場合、「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装を行ってください。
- この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなる場合がありますので注意してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や建物の形状、施工後塗膜が十分に乾燥する前、および乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- つや調整品は被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。硬化剤配合後は念入りに攪拌した上で、あらかじめ試し塗りをして確認してください。また上塗り1回目の塗装はつや有品を塗装してください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では、塗膜の白化、ふくれが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分に行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間はときどき換気を行ってください。
- サンフロンUVの硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害をおこすおそれがありますので、換気をよくし適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠蔽性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗り塗装した後、上塗り塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

## 安全衛生上及び取扱上の注意

### 〔製品の危険・有害性〕

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。

### 〔救急処置〕

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

### 〔取扱注意事項〕

- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱は避けてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋（耐溶剤性）、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着などに付着した汚れをよく落とししてください。
- よくふたをして直射日光を避け40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

### 〔施工後の安全性について〕

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りがたてであるなどの立て看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※安全データシート（SDS）をよく読んで取り扱ってください。



# ロックペイント株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000  
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX (06)6473-1000  
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304  
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号減正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255  
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112  
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433  
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966  
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：